

# 第 3 回 福島市中心市街地将来ビジョン検討委員会



と き 平成30年10月9日(火)

ところ コラッセふくしま(3階 企画展示室)

# 1.これまでの検討委員会の振り返り

---

## (1) 第1回検討委員会（6/4）での検討内容

- ・福島市中心市街地将来ビジョン検討委員会について
- ・中心市街地におけるまちづくりについて
- ・中心市街地の課題の整理について
- ・今後の進め方について

## (2) 第2回検討委員会（7/5）での検討内容

- ・第1回検討委員会の振り返り
- ・今後のまちづくりの検討項目について
- ・現在の高次都市機能の配置について
- ・高次都市機能の配置検討について
- ・次回の検討項目について

### (3) 市民から寄せられた意見（意見募集方法：福島市ホームページ）

	期間	件数	ご意見	年齢	住所
将来ビジョン検討委員会での意見	7月5日～ 8月10日	1件	<p>中心市街地に人を集めてコンパクトな暮らしと街づくりをしたいというのであれば、魅力的な商業施設・公共施設・イベント広場・それに伴う無料駐車場の整備などが必要だと思う。</p> <p>ゆったりとした広い道と緑あふれる木陰を散歩しながら買い物や飲食ができたなら、休日、若い人々も立ち寄るのではないか。自転車道も整備されていたらよい。</p>	60代	市内
	期間	件数	ご意見	年齢	住所
公共施設の再編整備検討委員会での意見	6月25日～ 8月10日	28件	別紙	別紙	別紙

# (4) 課題を踏まえたまちづくりの方向性の検討

## 中心市街地のまちづくりにおける課題

① 駅周辺の魅力形成について

② コンパクトなまちづくりについて

③ 街なか居住について

④ 実現に向けて

## 中心市街地の課題から6項目の視点による検討

① 新たな国際化に対応した  
広域コンベンション機能強化について

② 駅周辺の立地・特性を生かした  
新たな賑わい創出について

③ 駅周辺を拠点とした回遊性の  
強化について

④ コンパクトなまちづくりについて

⑤ 快適に暮らせる街なか居住の促進に  
ついて

⑥ 多様な主体との参画・連携による  
まちづくりについて

⇒第1回検討委員会からの意見をもとに第2回検討委員会で整理した。

⇒次に、第2回検討委員会で整理された方針を第3回検討委員会で検討を行う。

⇒運営やソフト施策についての意見等方針に位置づけが難しい部分は、施設の実現化における段階で検討を行う。

# ① 新たな国際化に対応した広域コンベンション機能強化について

## ＜検討委員会からの意見＞

- ・ コンサートホールなどのコンベンション機能は、駅周辺に必要である
- ・ コンベンション機能のみでは、賑わいが発生しない
- ・ コンベンションは事業誘致・営業努力が必要である
- ・ コンベンション・宿泊機能の充実と各温泉地との連携が必要である
- ・ ターゲット・需要予測など十分な検討が必要である
- ・ 国際会議に対応した大規模な施設は必要なのか
- ・ 持続可能で経営が成り立つものにしなければならない
- ・ キーワードとして、市民利用についても考える必要がある

## ＜具体的な方向性＞

- ▶ 広域コンベンション機能の強化により、賑わいの創出と交流人口の拡大を図る
- ▶ コンベンション施設の整備・運営に関しては、収益分岐点を考慮した上で、規模などを検討し、官民連携や民間アイデアを取り入れる検討を行う
- ▶ 市民も利用できるコンベンション施設の検討を行う
- ▶ 国内外の各種団体や学会などの比較的大規模な会議に対応した機能の強化により、賑わいの創出と交流人口の拡大を図る
- ▶ コンベンション機能を有する宿泊・バンケット機能の強化のみならず観光地や温泉地などとの連携・検討を行う

## ② 駅周辺の立地・特性を生かした新たな賑わい創出について

### <検討委員会からの意見>

- ・ 福島の顔として、商業の誘致（中合の継承・ブランド品が陳列するモール）や福島らしさの特産品・加工品開発の商品化、優れた果物の陳列など、ソフト対策が重要である
- ・ 商業施設の出店や、補助を行うなど様々な視点からまちづくりが必要である
- ・ 集客の統計など(マーケティングリサーチ)を行い、現場に足を運び調査する必要がある
- ・ サッカースタジアムが街なかにあってもよい

## ＜具体的な方向性＞

- ▶ これまであった百貨店の撤退により賑わいが失われつつあるため、新たなニーズに対応した商業機能を促進し賑わい創出を図る
- ▶ テーマ型専門ショップや若年層向けショップ、郷土料理や地元食材を活用した飲食店などの商業施設を集積し、回遊性と特色ある商業機能を促進することで賑わい創出を図る
- ▶ 街なかへの商業誘致などに係る支援強化を図る
- ▶ 福島市の特産物のブランド化・魅力創出を図る
- ▶ 公共施設の再編整備における施設の統合・複合化により適正な配置を検討し、教育文化機能の強化により、交流人口の拡大と賑わい創出を図る
- ▶ 「震災からの復興」をアピールするとともに、観光やイベント情報を発信するため、情報板などの設置検討を行い情報発信の強化を図る
- ▶ スポーツ文化の向上、賑わい創出、交流人口の拡大を目指し、スポーツ・アミューズメント機能の強化を図る



### ③ 駅周辺を拠点とした回遊性の強化について

#### <検討委員会からの意見>

- ・ 駅からの再開発への連結などが必要である
- ・ パセオ通りやレンガ通りなどの道路空間形成が重要である
- ・ わくわくやどきどきを演出する大道芸やコスプレイベントなどの取り組みや賑わい創出の仕組みづくりが重要である
- ・ 福島ならではの「花」「果物」「温泉」「健康」などのキーワードが必要である

## <具体的な方向性>

- ▶ 新東西自由通路の整備により、駅利用者や歩行者の利便性の向上を図るとともに、ユニバーサルデザインとバリアフリーの理念に基づき、安全で快適な歩行環境の強化を図る
- ▶ 福島駅東西を結ぶ新東西自由通路などの整備により都市施設の連結を強化する
- ▶ 道路空間を利用した魅力的で賑わいのあるまちづくりを推進する
- ▶ 駅や拠点施設などを結ぶ道路について、統一感のある街なみ景観の整備により、魅力的な動線軸（シンボリックストリート）の形成を図る
- ▶ 本市の顔として、都市活動の拠点となるシンボリックで市民が誇りに思える空間形成を図る
- ▶ 吾妻連峰、阿武隈山系、信夫山、花見山などの優れた眺望と調和した街なみ形成を図る
- ▶ 計画的に駐車場整備を促進し、自動車利用の円滑化や歩行者の安全確保を図る
- ▶ インバウンドや市内外からの来訪者に対して、分かりやすい案内や誘導を行うため、案内サインなどの整備や改善を図る
- ▶ 歴史、文化、阿武隈川や荒川の水辺空間などの既存資源を活用した、街なか観光の促進や年間を通じた集客イベントなど、ソフト施策の強化による集客力の向上と賑わい創出を図る

## ④コンパクトなまちづくりについて

### <検討委員会からの意見>

- ・街なかの移動を促進する、新たな公共交通のあり方について考える必要がある

### <具体的な方向性>

- ▶施設の統合・複合化により公共施設の再編整備における市民サービス向上及び交流人口の拡大と賑わいの創出を図る
- ▶福島駅東口・西口における土地利用状況や都市機能の集積状況を生かした役割分担と連携による魅力強化を図る
- ▶駅と公共交通のあり方について検討し、公共交通ネットワークの充実を図る

## ⑤ 快適に暮らせる街なか居住の促進について

### <検討委員会からの意見>

- ・ 社員の家族が含む居住促進のため、教育環境の充実が必要である
- ・ 乳幼児に配慮したトイレの設置や託児室などの施設整備や一時預かりなど、安心して子育てができる環境づくりが必要である

### <具体的な方向性>

- ▶ 高齢者、若者や子育て層が安心して快適に暮らせる都心居住を促進する
- ▶ 都心居住を支える生活関連施設や医療・福祉機能の充実を図る
- ▶ 乳幼児に配慮したトイレの設置や託児室などの施設整備や一時預かりなど、安心して子育てができる環境づくりを図る
- ▶ 快適に暮らせる居住環境の形成のため、広場やポケットパークなどの整備を図る

## ⑥多様な主体との参画・連携によるまちづくりについて

### ＜検討委員会からの意見＞

- ・再開発は千載一遇のチャンス。官と民との協力、前向きな支援が必要である
- ・中心市街地をマネジメントする市の担当部局が必要である。また、官と民が協力する必要がある
- ・官民に学との連携を加えてほしい

### ＜具体的な方向性＞

- ▶民間企業・NPO・住民などの多様な主体の参画・連携を促す
- ▶大学と市民、大学と企業が相互に関係を持ち、事業の検討やまちづくりの推進を図る
- ▶公共投資をできる限り抑制しつつ、効率的かつ効果的に公共サービスを提供する
- ▶市民と行政がまちづくりの情報を共有し、それぞれの役割と責任を担いながら対等な関係で互いに協力してまちづくりを進める

## 2. 第3回福島市公共施設の戦略的再編整備検討委員会資料(抜粋)

### (1) 検討委員会での議論、各委員の皆様からの主なご意見

#### ① 中心市街地における公共施設再編整備のコンセプトについて

- ・機能に関しては、「市民向け」と「広域利用向け」と分けて整理し、場所に関しては「市民向け」は本庁舎西棟との複合化、「広域利用向け」に関しては再開発事業との連携を含め福島駅周辺での複合化を優先的に検討する方向性はあるものと思料。
- ・「強化すべき機能」に関しては、県都としての復興や交流人口拡大に向けた発信交流機能が望ましいものと思料。
- ・施設整備・運営に関しては、財政負担軽減、運営合理化、利用者の利便性向上、間事業との連携による利用者増を図る観点から、官民連携を優先的に検討し、マーケットサウンディングや民間提案制度などの民間アイデアを取り入れるプロセスを検討すべきである。
- ・公共施設が、社会的弱者を含め、市民一人ひとり積極的にかかわれるものになれるのか、利用から遠くなっている人達にこそ意味を持たせるためにも、社会的包摂の視点が必要と考える。

## ②市役所新庁舎西棟について

- ・西日本の大災害状況を踏まえ防災機能（備蓄、避難）、市民集会施設と議会機能を含めた、複合化・統合を図り、早急に実施すべきである。優先順位は1位。

## ③福島市消防本部/福島消防署について

- ・防災施設の充実は極めて重要。4号国道に近い位置との新聞報道や、再編整備に伴う跡地活用も含め検討とあり、他の施設の再編整備検討に非常に影響するので、現時点での市の構想を聞きたい。
- ・消防機能は必要不可欠な機能であり、他の機能とは別格。災害に備え、用地取得する必要がある場合でも、行政が最適と考える場所に整備すべきである。

## ④その他について

- ・交通機能が先にあることが大事だと考える。  
（福島市に路面電車を復活させるのが夢である）
- ・理想とする公共複合施設は、長岡市のアオーレ長岡だった。そこまでいかなくとも常に人がいる駅前になってほしい。

## (2) 機能再編・整備場所など

### ① 公会堂・市民会館について

#### 【機能再編】

- ① 公会堂と市民会館（下記②を除く機能）を複合化し、  
コンベンション施設へ再編
- ② 市民会館（施設近隣利用者の集会所機能等）は、  
市役所本庁舎西棟へ複合化

#### 【整備場所】

コンベンション施設は駅前再開発事業との連携により、  
福島駅東口周辺に整備

#### 【調整事項】

- ① 大ホール・展示ホール・会議室群による複合型施設として、  
拠点性を強化しながら、市民の鑑賞・発表機会や集会利用の確保が  
可能な可変型の施設機能を検討。
- ② 施設規模の検討にあたっては、施設全体で2,000～3,000人規模の  
国際会議や全国規模の会議への対応を想定するとともに、  
収益分岐点(1,500人程度)や市民利用の適正規模  
(600～1,000席程度)を考慮。  
市保有床面積は概ね1万㎡とし、  
1万㎡を超える場合は民間活力との連携を図る。



## ② 図書館本館について

### 【機能再編】

中央館機能の向上を図るとともに、**関連性のある他施設との統合・複合化**

### 【整備場所】

図書館のあり方についての検討を踏まえ、**駅前又は現在地周辺等の適地**

### 【調整事項】

- ① 本館、分館及び学習センター図書室のあり方について検討が必要
- ② ①の検討を踏まえ、本館の役割を勘案した適正な規模による施設整備の内容検討が必要

## ③ 中央学習センターについて

【機能再編】 **市役所本庁舎西棟（市民交流機能）との複合化**

【整備場所】 市役所本庁舎西棟建設予定地

### 【調整事項】

- ① 中央学習センター機能部分の施設規模は、**現有延床面積（2,009㎡）未満**とし、**中心市街地内の他の類似施設の状況を踏まえ必要最小限の施設構成**とする
- ② 施設機能は、学習拠点としての機能のみならず、**地域コミュニティの維持や防災拠点的な性格**にも配慮

## ④消防本部・福島消防署について

### 【機能再編】

他施設機能との親和性がないため**単独設置** ※配置の集約は要検討

### 【整備場所】

再編整備に伴う跡地の活用も含め適地を検討

※他署所の配置も考慮の上、消防力が効果的に発揮しうる適地を市有地だけでなく民地も含め、別に幅広く検討

### 【調整事項】

- ①同署管内及びその近接区域への**現場到着時間の短縮**も考慮した配置
- ②消防活動による交通事故等の二次的被害の防止に努め、**配置環境住宅地・学校など）にも配慮**

## ⑤ サッカースタジアムについて

### 【効果】

スポーツ文化の向上、賑わい創出、交流人口拡大 等

### 【課題】

- ① 現在の入場者数に対する分析・評価と整備効果の見極め
- ② 実施主体や運営方法について、民間主導による多角的な手法の検討

### 【まとめ】

当面、**中長期的な検討課題**として調査研究を続けるとともに、**ファン拡大・観客動員数増加に向けて福島市としても精力的に取り組む**

## ⑥ 福島駅新東西自由通路について

【効果】 駅周辺の回遊性強化

- 【課題】
- ① 民間事業者との役割分担
  - ② 整備コストの確保

### 【まとめ】

当面、**中長期的な検討課題**として調査研究を続けるとともに、**駅周辺の都市機能の集積状況を見極めた上で適時再検討する**

### (3) 再編整備の優先度

【再編整備の優先度（一例）】

◎非常に高い ○高い △中長期的課題

優先度	区分	施設名	タイムスケジュール（一例）				備考	
◎	拠点整備	コンベンション施設（公会堂・市民会館）	基本計画	基本設計	実施設計	着工	駅前再開発事業との連携を想定	
◎	老朽化対策	図書館本館 <b>再編可能性</b>	図書館のあり方検討を踏まえた再編整備					
◎	老朽化対策 (防災機能含む)	中央学習センター・市役所本庁舎西棟	運営審議会 懇談会等	基本計画 基本設計	実施設計	着工		
◎	老朽化対策 (災対機能含む)	消防本部・福島消防署	各署所配置 方針決定 (適地選定)	基本計画 基本設計	実施設計	着工		
○	保全・長期 利用	中心市街地の他の公共施設	保全・長期 利用方針 決定	長期的保全・利用を目指し、適宜改修等を実施				
△	新設・既設 改修検討	サッカースタジアム	当面調査研究を続け、中長期的な検討課題と位置付け					
△	新設検討	福島駅新東西自由通路						

### **3. 中心市街地将来ビジョンについて**

---

# (1) まちづくりの方針

## <基本的な考え方>

県都にふさわしい魅力あふれる広域的な拠点として、商業・業務・医療・コンベンション・教育・文化・宿泊・バンケット・スポーツ・アミューズメント・交流・情報発信・まちなか居住などの都市機能の集積強化を図り、福島駅を中心とした中心市街地の魅力の向上と賑わいの創出を目指したまちづくりを推進します。

## 5つの方針

### 風格ある県都ふくしまの実現

方針  
1

広域的な拠点地区として活力のあるまちづくり

方針  
2

魅力的で賑わいのあるまちづくり

方針  
3

まちを楽しみ、すごせるシンボル軸・回遊空間づくり

方針  
4

快適で住みやすいコンパクトなまちづくり

方針  
5

みんなが参画し連携するまちづくり

# まちづくりの方針 1

## 広域的な拠点地区として活力のあるまちづくり

広域コンベンション・教育・文化・商業・業務・医療・交流・情報発信など多様な都市機能の集積強化により活力あるまちづくりを目指します

- 公共施設の再編による適正な機能配置を検討し、集客・交流拠点として、コンベンション機能及び教育・文化機能の強化を図る
- 土地の高度利用を推進し、商業・業務機能、医療・福祉機能などの強化を図る
- 大きな会議や展示会などのコンベンションを支える宿泊・バンケット機能の強化を図る
- スポーツ文化の向上のため、スポーツアミューズメント機能の強化を図る
- 拠点施設の整備においては、市街地再開発事業、暮らし・にぎわい再生事業などにより、都市機能の充実を図る
- 都市機能の集積強化においては、民間のノウハウや資本などの民間活力の活用を図る

# まちづくりの方針 2

## 魅力的で賑わいのあるまちづくり

商業環境やイベント等の充実により魅力的で賑わいのあるまちづくりを目指します

- 人を惹きつける飲食店や専門的な商業の集積により魅力的で賑わいがあふれる商業空間の形成を図る
- 震災からの復興をアピールするとともに市内の温泉街、観光やイベント情報などについての情報発信の強化を図る
- 歴史、文化、自然などの既存資源を活用した街なか観光の促進や市民・民間企業・まちづくり組織などとの連携により、公共空間を活用したイベントなどのソフト事業の強化を図る
- 市民・民間企業・まちづくり組織等と連携を図りつつ沿道に面した店舗などと道路空間が一体となった統一感のある街なみ景観の整備を図る
- コンベンションと温泉街との連携により受け入れ態勢の強化を図る
- 本市の優れた特産物など、観光資源としての魅力向上を図る



# まちづくりの方針3

## まちを楽しみ、すごせるシンボル軸・回遊空間づくり

訪れた人も、住む人も、まちを楽しみ、すごせる歩行・広場空間づくりを目指します

- 駅前広場や駅舎と連携し、新東西自由通路の整備により、歩行者の利用しやすい移動環境と駅東口・西口地区の連携強化を図る
- インバウンドに対応した案内サインの整備や改善により、来訪者や市民の移動環境の向上を図る
- 信夫山、花見山などの優れた眺望と調和した歩行者優先の魅力的でシンボリックな道路空間（動線軸）の形成を図る
- 統一感のある街なみや花などによる彩りのある景観整備を図る
- 路地裏を生かした個性豊かな店舗などにより、落ち着きのある空間の形成を図る
- 計画的に駐車場の整備を促進し、自動車利用の円滑化や歩行者の安全確保を図る
- 歩道や広場などのバリアフリー化や整備などにより、歩きやすい歩行環境の充実や回遊性の向上と健康増進やレクリエーション機能の充実を図る
- レンタサイクル事業・循環バス等を生かした回遊しやすい環境の充実を図る

# まちづくりの方針 4

## 快適で住みやすいコンパクトなまちづくり

生活に必要な都市機能が充実し、便利で安心・快適にすごすことのできるまちづくりを目指します

- 中心市街地の優れた公共交通条件を生かし、居住や都市の生活を支える機能の適切な誘導と充実を図る
- 都市機能が集積する中心市街地の利便性を生かし、都心居住の促進を図る
- 公共施設の再編による、機能の統合・複合化により市民交流機能・地域コミュニティ・生涯学習・防災機能などの強化を図る
- 災害に強い消防施設の整備検討を行い消防機能の強化を図る
- 医療・福祉・子育て機能の充実や各種居住支援事業により、若者や子育て層、高齢者等が安心して快適に暮らせる都心居住の促進を図る
- 駅と拠点施設を結ぶ公共交通のあり方について検討するとともに公共交通ネットワークの充実を図る

# まちづくりの方針5

## みんなが参画し連携するまちづくり

暮らし・学び・働く人々が一緒に、自らのまちを考え、中心市街地のまちづくりを進めるため、ルールや仕組みをつくり、効果的かつ効率的に実践していきます

- 官民連携や民間アイデアを取り入れることが可能な体制づくりを検討する
- 民間事業者の創意工夫を活用し、官・民（学）が一同に介し、話し合い、役割と責任を担いながら、まちづくりを進める
- 広報紙やホームページなどによるまちづくりの支援制度等の周知、優良なまちづくり活動の事例紹介など、情報発信に努める
- まちづくり活動に際しての必要かつ有効な情報提供を行うなど、相談窓口の充実を図る
- 住民主体的の地区のルールづくりや計画の検討における専門家の派遣など、まちづくり活動に対する支援の充実を図る

# (2) 現在の都市機能配置

商業機能・コンベンション機能・  
アミューズメント機能  
(MAXふくしま・イオンシネマ福島)

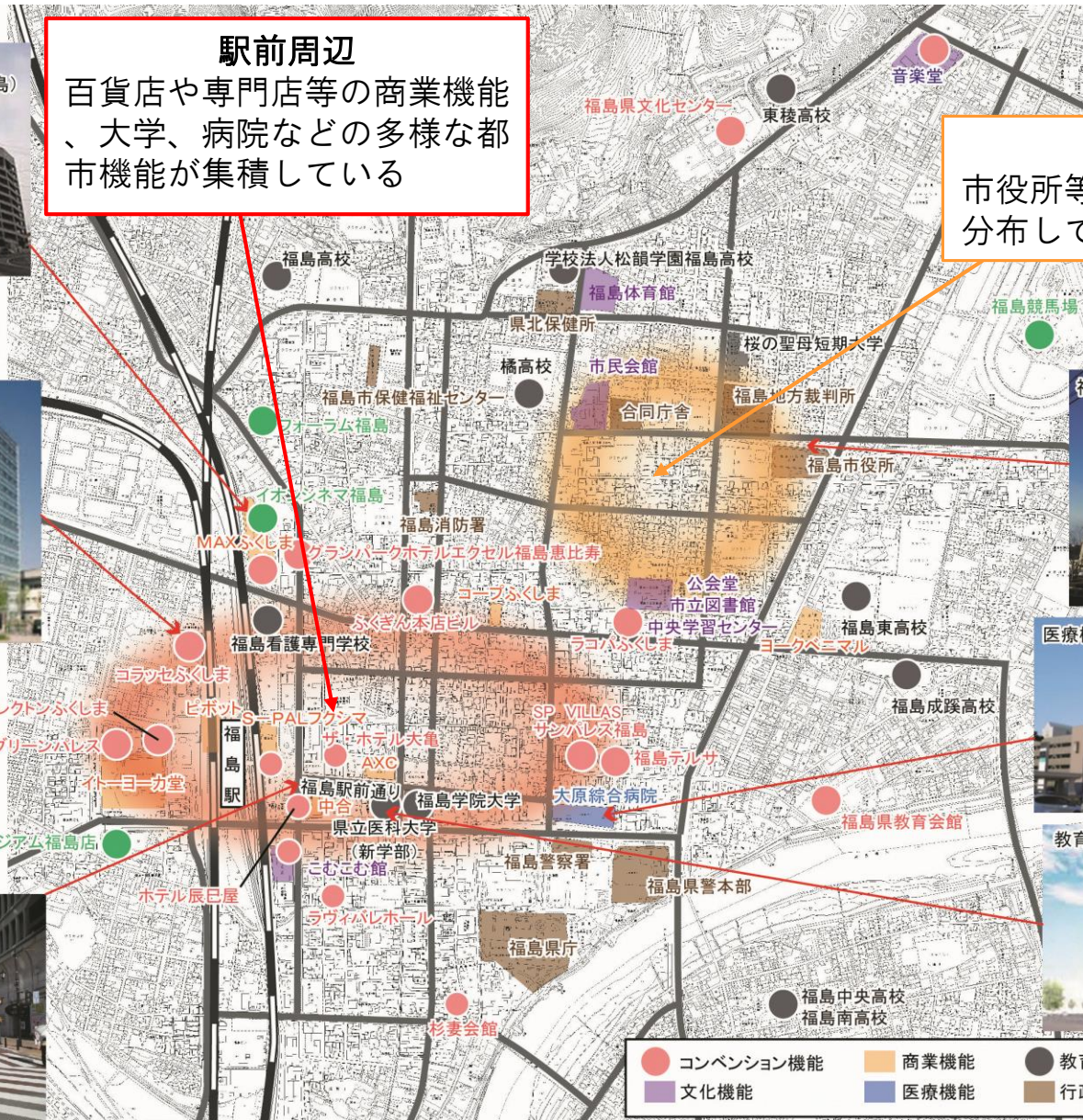


コンベンション機能・行政機能  
(コラッセふくしま)



**駅前周辺**  
百貨店や専門店等の商業機能、  
大学、病院などの多様な都市機能が  
集積している

**市役所周辺**  
市役所等の行政・文化機能が  
分布している

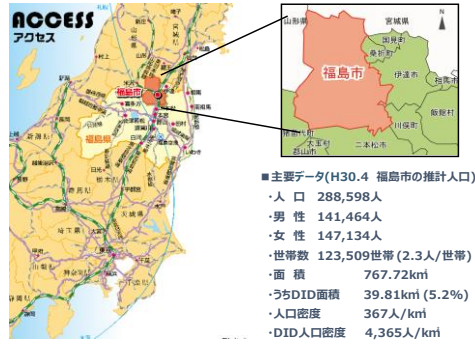


- コンベンション機能
- 商業機能
- 教育機能
- アミューズメント機能
- 文化機能
- 医療機能
- 行政機能

# (3) 都市機能の配置方針 (案)

## (中心市街地機能強化エリア・動線軸イメージ)

【福島市の概要】



### 風格ある県都ふくしまの実現

**方針1 広域的な拠点地区として活力のあるまちづくり**  
 広域コンベンション・教育・文化・商業・業務・医療・交流・情報発信など多様な都市機能の集積強化により活力あるまちづくりを目指します

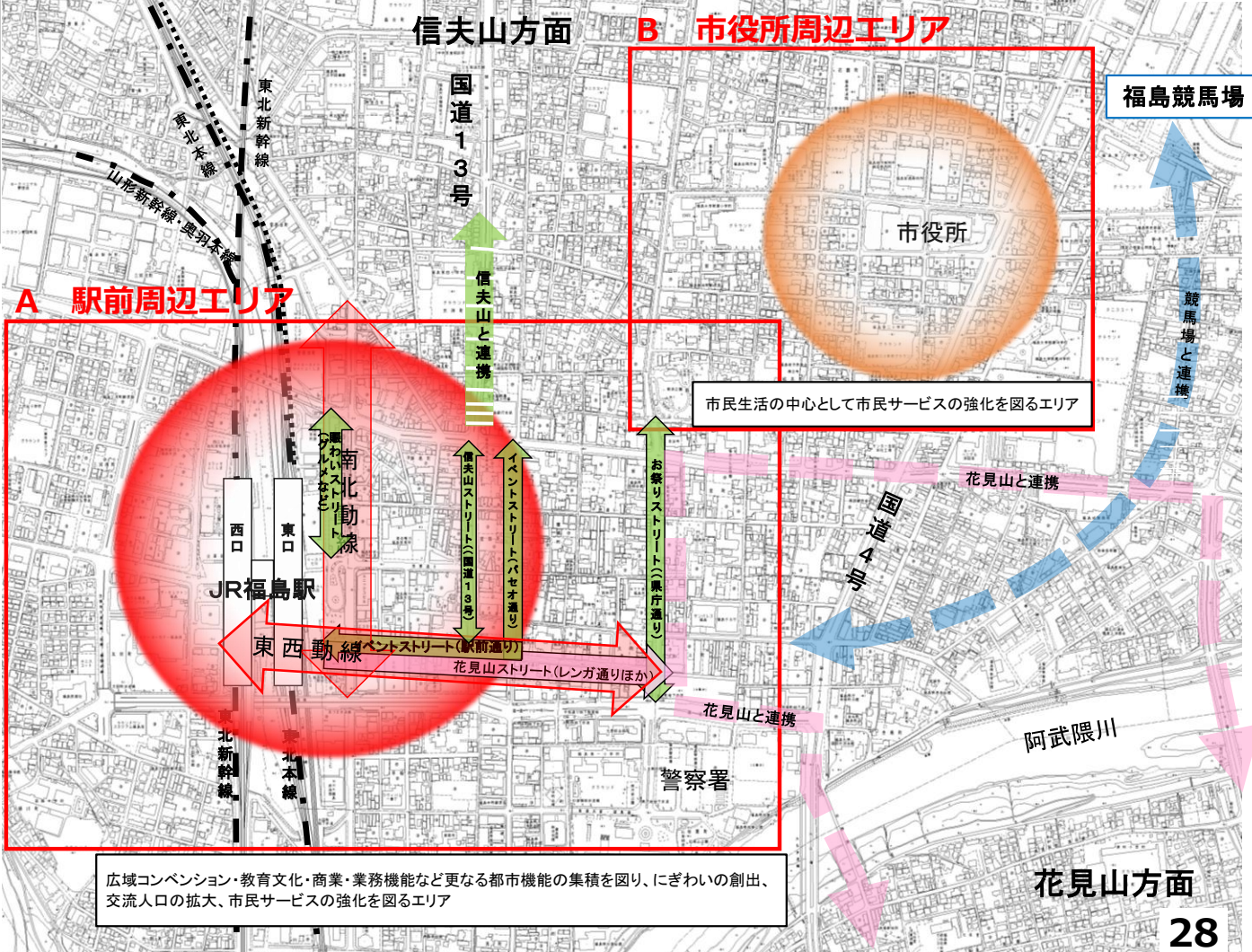
**方針2 魅力的で賑わいのあるまちづくり**  
 商業環境やイベント等の充実により魅力的で賑わいのあるまちづくりを目指します

**方針3 まちを楽しみ、すごせるシンボル軸・回遊空間づくり**  
 訪れた人も、住む人も、まちを楽しみ、すごせる歩行・広場空間づくりを目指します

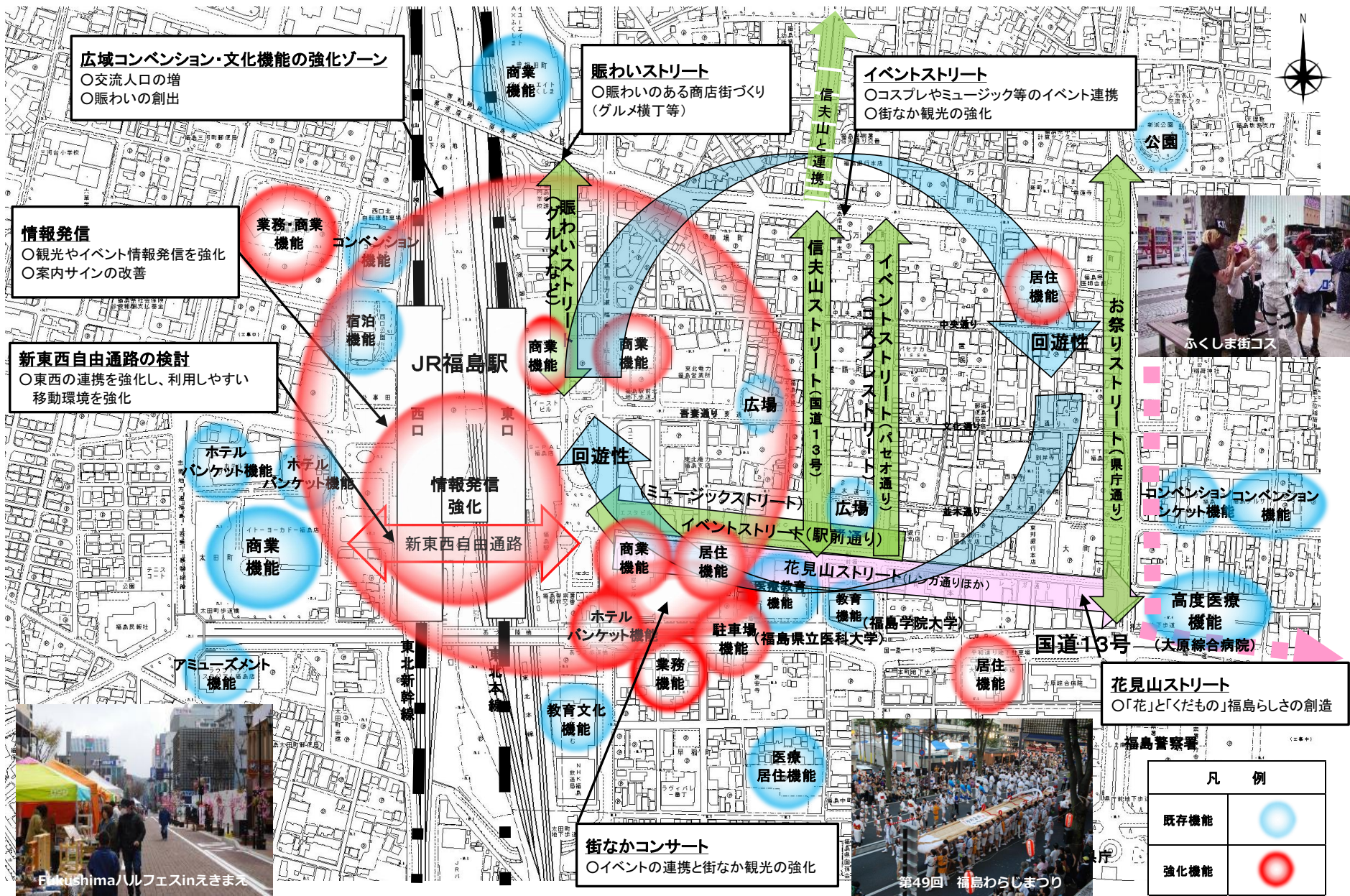
**方針4 快適で住みやすいコンパクトなまちづくり**  
 生活に必要な都市機能が充実し、便利で安心・快適にすごすことのできるまちづくりを目指します

**方針5 みんなが参画し連携するまちづくり**  
 暮らし・学び・働く人々が一緒に、自らのまちを考え、中心市街地のまちづくりを進めるため、ルールや仕組みをつくり、効果的かつ効率的に実践していきます

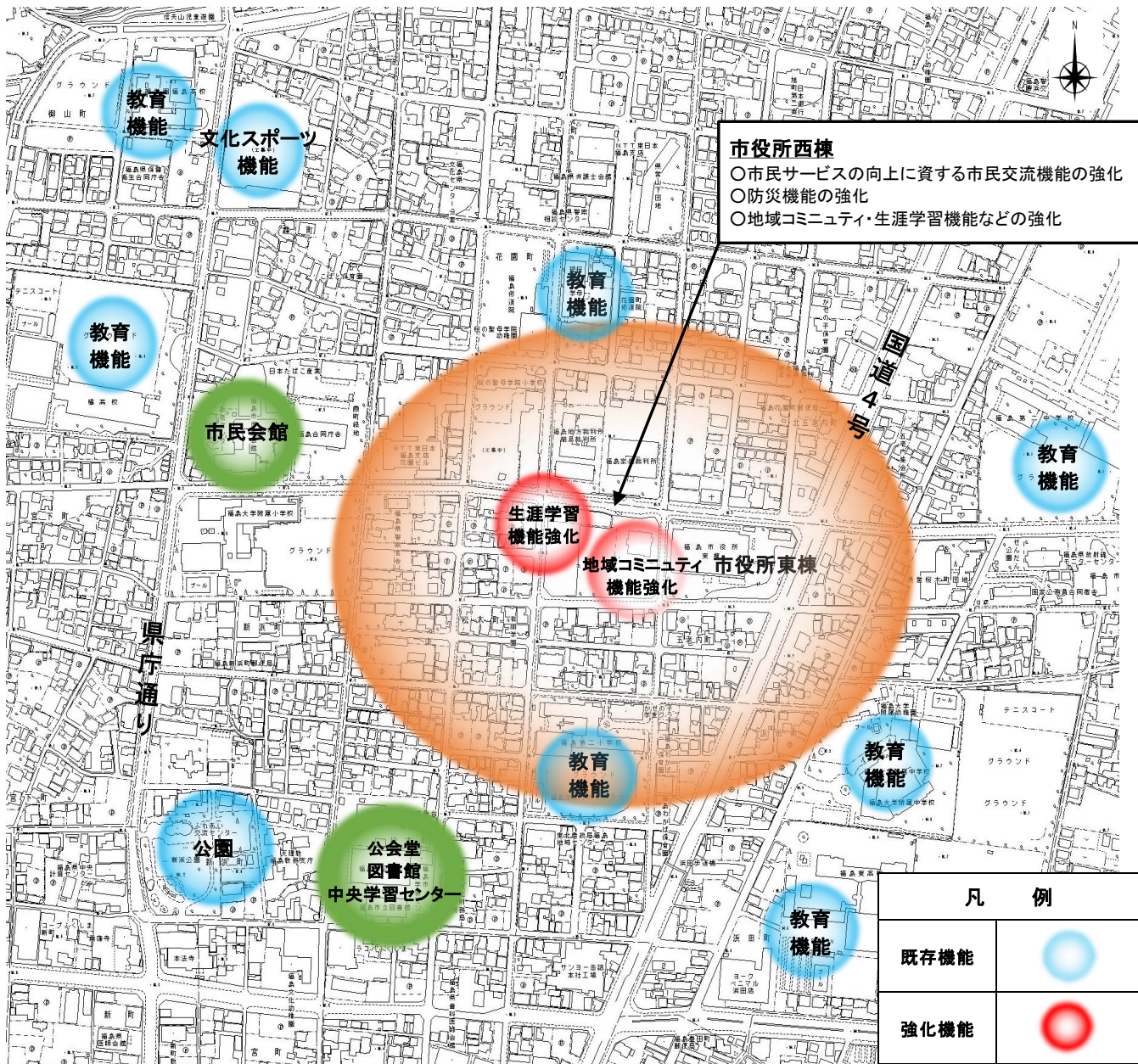
〈基本的な考え方〉  
 県都にふさわしい魅力あふれる広域的な拠点として、商業・業務・医療・コンベンション・教育・文化・宿泊・バンケット・スポーツ・アミューズメント・交流・情報発信・まちなか居住などの都市機能の集積強化を図り、福島駅を中心とした中心市街地の魅力の向上と賑わいの創出を目指したまちづくりを推進します。



# (A 駅前周辺の都市機能配置)



# (B 市役所周辺の都市機能配置)



開放的な緑豊かな広場空間



落ち着きのある路地空間



賑わいがある美しい広場空間

## (4) まちなか賑わいイメージ

### ①通りの賑わい形成イメージ

- 歩道空間や隣接する広場などを活用し、街なか全体が賑わうサブカルチャーや市の資源を活用したイベントを開催する。



ふくしま街コス



第49回 福島わらじまつり



Fukushimaハルフェスinえきまえ



落ち着きのある路地空間



ストリート空間



## ②広場の賑わい形成イメージ

### ○取り組み方の例

- ・ **再開発等の活用による整備**  
まちづくりの促進と合わせた賑わい空間の導入
- ・ **公共空間の再編による整備**  
周辺環境と調和した広場空間
- ・ **民間開発における整備誘導**  
建替に合わせた多様な「広場」創出の展開に向けたルールや支援制度の構築



開放的な緑豊かな広場空間



賑わいがある美しい広場空間

## ※次回の検討委員会は

第4回 11月14日（水） 13：15～

開催場所：市役所4階（庁議室）

を予定しております。

日程調整方よろしく申し上げます。